

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ここいほ		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 4日		～ 令和7年 11月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 17日		～ 令和7年 11月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の希望を取り入れた外出活動を多く実施しています。	買い物や公共交通機関での外出等を多く提供し、社会でのルールやマナーを身につけられるようにしています。 また、事前に打ち合わせを行い、安全面に配慮したイベントを行っています。	利用者が外出先で経験したことをもとに、ソーシャルスキルトレーニング等を実施し、振り返りを行うことで、ルールやマナーの理解を深めていきます。 また、地域の施設やイベントに関して、常に情報収集を行っています。
2	保護者懇談会を実施しました。	保護者同士の交流のきっかけとなるよう、保護者懇談会を実施しました。話を始める順番をガチャガチャのおもちゃで決める等、楽しい雰囲気作りを心掛けました。	今後も継続できるよう、保護者懇談会の周知を行うことや、内容も固定化せず、さまざまな形式での開催を検討していきます。
3	職員間での情報共有や相談が日々行われています。	ミーティング以外にも、職員同士の日々の会話やコミュニケーションを大切にしており、すぐに相談しやすい環境作りを行っています。	SNS等を利用した活動内容の発信も再検討し、事業所でどのような活動をしているか知ってもらうことで、新たな人材確保にも繋げていけるよう働きかけていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学童や児童館との関わりを今以上に増やしていきたいです。	児童館に関しては、市外の児童館を利用させていただいているため、同じ学校のお友達と交流する機会は少ない状況です。移動距離の面からも時間がかかるため、下校時間が早い日のみの利用となっています。	砺波市内の児童館が移転するため、今後は利用システムを確認し、定期的に利用できたら良いと考えています。
2	きょうだい児への支援やペアレントトレーニングのお伝えも今後増やしていきたいです。	今年度は保護者懇談会を開催することができましたが、きょうだい児も参加できるような活動の機会を設けることができませんでした。 また、従業員向けのペアレントトレーニング研修を受けることができませんでしたが、具体的な関わり方を伝える場面の確保は難しい状況です。	きょうだい児も一緒に参加できる活動や、保護者が参加できるペアレントトレーニングに関する研修会等を定期的実施できるよう検討していきます。
3			